

社会資本総合整備計画(市街地整備)

しん な か え き し ゅ う へ ん に き ち く
新那加駅周辺二期地区

(第1回変更)

ぎ ふ け ん か か み が は ら し
岐阜県 各務原市

令和3年2月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (市街地整備)

令和3年2月5日

計画の名称	新那加駅周辺二期地区										重点配分対象の該当						
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)					交付対象	各務原市										
計画の目標	<p>大目標：『駅周辺の安全・安心なまちづくり』</p> <p>目標1：誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した拠点を整備する。</p> <p>目標2：駅周辺道路を利用する歩行者の安全性の向上。</p>																
計画の成果目標 (定量的指標)	<p>1. バリアフリー化に対する満足度・・・・・・・・・・バリアフリー化や交通結節点の改善を行うことで利用者の満足度の向上を図る。</p> <p>2. バリアフリー重点路線及び通学路の整備率・・・・・・・・歩車道分離により、駅周辺施設利用者、通学児童や生徒の安全性の向上。</p> <p>3. 歩道整備に対する満足度・・・・・・・・・・通学児童や生徒、また周辺施設利用者の安全性を向上させることで利用者の満足度の向上を図る。</p>																
定量的指標の定義及び算定式											備考						
											備考						
											備考						
											備考						
駅利用者のバリアフリーに対する満足度						55%				-	74%						
駅周辺のバリアフリー重点路線及び通学路の整備率						64%				-	75%						
駅周辺の歩道整備に対する満足度						55%				-	65%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		185.8百万円	A	185.8百万円 (内提案事業費分4百万円)	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案分) + C) / (A+B+C)	2.2%				
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									R2	R3	R4	R5	R6				
1-A-1	都市再生	一般	各務原市	直接	各務原市	新那加駅周辺二期地区都市再生整備計画	道路等 63ha	各務原市						186			
合計														186			
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									R2	R3	R4	R5	R6				
合計														0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R2	R3	R4	R5	R6				
合計														0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R2	R3	R4	R5	R6				
合計														0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

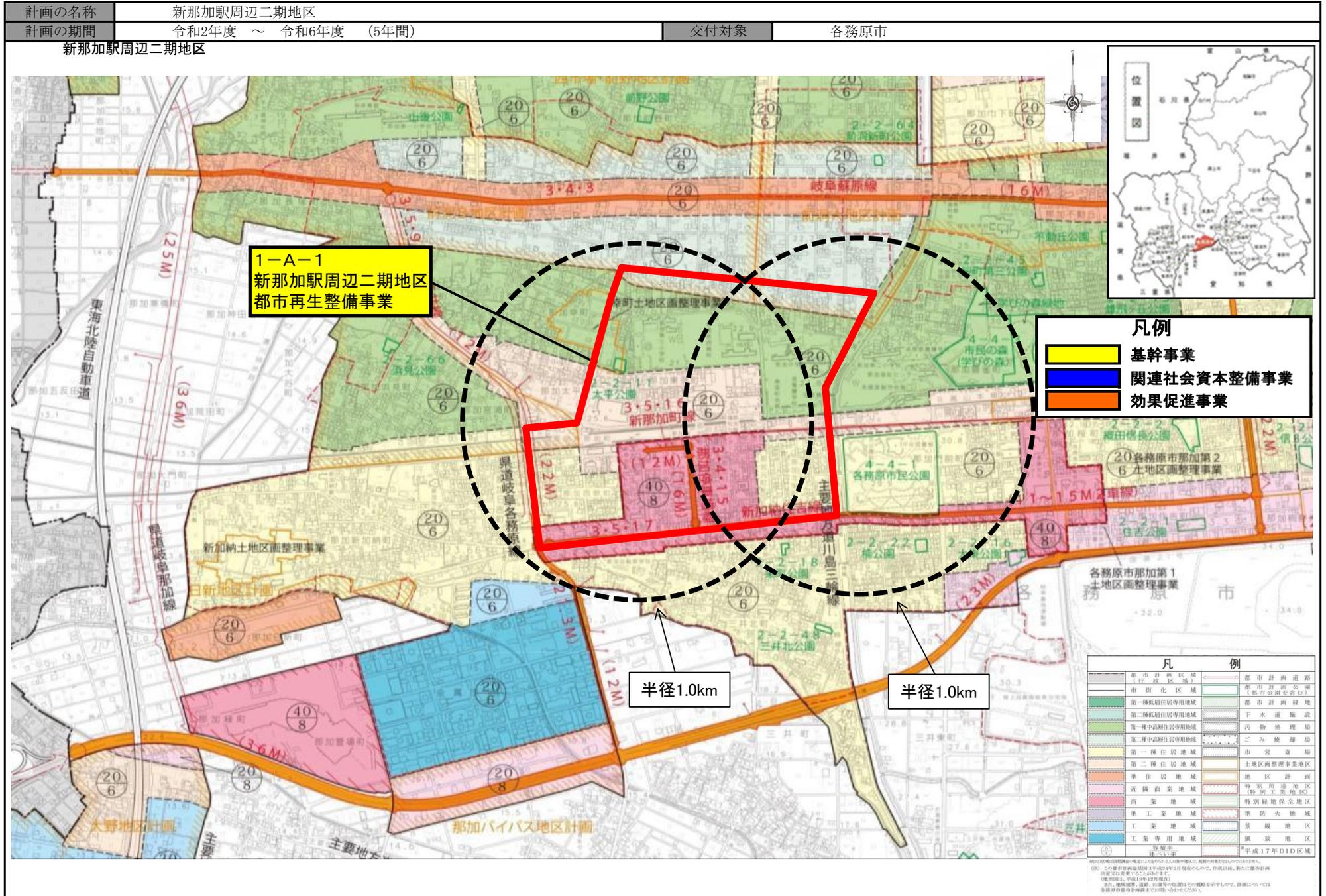
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	6.1	-	-	-	-
計画別流用 増△減額 (b)	-	-	-	-	-
交付額 (c=a+b)	6.1	-	-	-	-
前年度からの繰越額 (d)	-	-	-	-	-
支払済額 (e)	-	-	-	-	-
翌年度繰越額 (f)	-	-	-	-	-
うち未契約繰越額 (g)	-	-	-	-	-
不用額 (h = c+d-e-f)	-	-	-	-	-
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	-	-	-	-	-
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-

※ 令和2年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備



(注) この都市計画図面は平成24年3月現在のものです。作成以後、新たに都市計画決定された変更等がある場合があります。
 (備考) 1. 平成17年3月現在
 2. 景観地区、風致地区、特別用途地区はその機能を喪失するまで、詳細図に1/2500各務原市都市計画図まで3000-10000まで縮尺してあります。

都市再生整備計画(第1回変更)

しん な か え き し ゅ う へ ん に き ち く
新那加駅周辺二期地区

ぎ ぶ 岐 阜 県 か か み が は ら し
各務原市

令和3年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	ぎふけん 岐阜県	市町村名	かかみがはらし 各務原市	地区名	しんなかえきしほうへんにきちく 新那加駅周辺二期地区	面積	63 ha
-------	-------------	------	-----------------	-----	-------------------------------	----	-------

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	交付期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度
------	-------------------	------	-------------------

目標 大目標:『駅周辺の安全・安心なまちづくり』 目標1:誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した拠点を整備する。 目標2:駅周辺道路を利用する歩行者の安全性の向上。

目 令和2年1月 まちづくりの経緯及び現況 本地区は、各務原市の西部に位置し、「各務原市都市計画マスタープラン」において、各種官公庁や教育施設、商業施設等が集積する西の都市拠点として位置づける地区である。 当駅は、1日当たりの平均乗降客数が3,000人を超える駅で通勤通学等の利用者が多い一方、駅周辺の道路には歩道が未整備となっている箇所があり、歩行者への安全が確保されていない。また、駅周辺には、病院や郵便局、商店街、小中学校、高校、総合体育館等が立地しており、各施設への歩行空間の安全確保や利便性の向上が求められる。 しかし、歩道が設置してある路線もあるが、歩行空間が確保されていない路線もあり、安全で快適な通行の支障となっている。 さらに駅北側の道路には、送迎車の待ち場がなく、多くの車が路上に駐車し、通行の支障になっている。早急に待ち場の整備が必要となっている。 これらの状況を勘案し、平成26年度には「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、当駅の周辺地区を重点整備地区に指定し、「新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想」の策定を進めている。
課題 ・1日当たり平均3,000人以上の利用者がいるものの、駅北側には送迎車の待ち場がなく、路上に駐車している状況であり、通行に支障をきたしている。待場の整備を行う必要がある。 ・駅や周辺施設をつなぐ道路について、安全で快適な移動経路を確保するために歩行空間の形成を行う必要がある。 ・駅周辺には小中学校および高校があることから、通学児童や生徒の安全を確保する必要がある。
将来ビジョン(中長期) (各務原市都市計画マスタープラン) ・那加駅や新那加駅周辺と市役所周辺を含む地区は本市の拠点商業地としての役割を果たしていることから、今後も歩道整備等のハード的な事業や商店街活性化施策等のソフト的な事業の展開により既存機能の強化・充実を図る。 ・主要駅等においては、身体に障がいを持った方にも利用しやすいような構造とし、電光掲示板や音声案内等の導入に努める。 (各務原市地域福祉計画かかみがはらハートプラン) ・バリアフリーやユニバーサルデザインの視点を踏まえた施設の改修を推進する。 (かかみがはら高齢者総合プラン) ・公共施設において、段差解消等、高齢者に配慮した施設づくりを促進する。 ・高齢の歩行者に配慮した歩道を整備する。また、バリアフリー実現のために送迎車等の待場をバリアフリーに配慮した整備を行う。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1.バリアフリー化に対する満足度	%	駅利用者のバリアフリーに対する満足度	バリアフリー化や交通結節点の改善を行うことで利用者の満足度の向上を図る。	55	令和元年	74	令和6年
2.バリアフリー重点路線及び通学路の整備率	%	駅周辺のバリアフリー重点路線及び通学路の整備率	歩車道分離により、駅周辺施設利用者、通学児童や生徒の安全性の向上。	64	令和元年	75	令和6年
3.歩道整備に対する満足度	%	駅周辺の歩道整備に対する満足度	通学児童や生徒、また周辺施設利用者の安全性を向上させることで利用者の満足度の向上を図る。	55	令和元年	65	令和6年

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した拠点を整備する。 新那加駅の北出入口には送迎車の待ち場がなく、路上駐車している状況で、交通の支障となり、高齢者や障がい者、車椅子利用者等が安心して乗り降りできない状況である。したがって、北側出入り口付近の道路を拡幅し、バリアフリーを考慮した待ち場を整備することで、誰もが利用しやすい拠点を整備する。</p>	<p>■基幹事業 ・地域生活基盤施設：新那加駅前乗降場</p>
<p>・駅周辺道路を利用する歩行者の安全性の向上 駅から病院や郵便局、商業施設、自動車学校等に向かう歩行者や、駅周辺通学路を利用する児童や生徒に対する、安全性や利便性を向上するために、安全で快適な歩行空間を整備する。</p>	<p>■基幹事業 ・道路：那730号線 ・道路：那140号線 ・道路：那474号線外1 ・道路：那481号線外1 ・地域生活基盤施設：新那加駅前乗降場</p>
<p>その他</p>	
<p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p>	

都市再生整備計画の区域

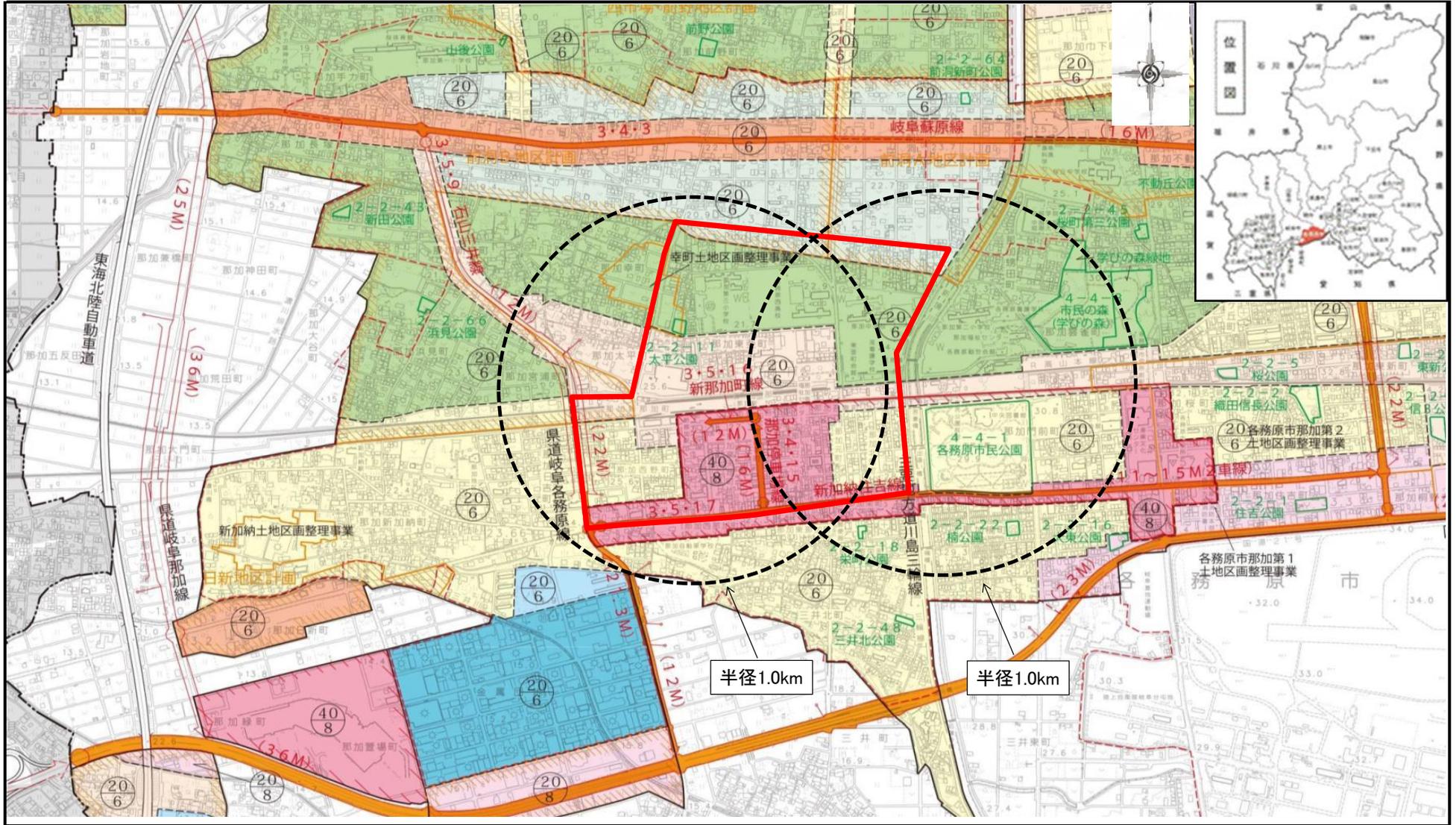
新那加駅周辺二期地区(岐阜県各務原市)

面積

63 ha

区域

新那加駅周辺二期地区



新那加駅周辺二期地区(岐阜県各務原市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	駅周辺の安心・安全なまちづくり	代表的な指標	バリアフリー化に対する満足度 (%)	55	(令和元年度)	→	74	(令和6年度)
			バリアフリー重点路線及び通学路の整備率 (%)	64	(令和元年度)	→	75	(令和6年度)
			歩道整備に対する満足度 (%)	55	(令和元年度)	→	65	(令和6年度)

凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

□提案事業 事業活用調査
事業効果分析調査

■基幹事業 道路
市道那730号線 L=160m

■基幹事業 地域生活基盤設備
新那加駅前乗降場整備 L=100m

■基幹事業 道路
市道那140号線整備 L=65m

■基幹事業 道路
市道那474号線外1整備 L=360m

■基幹事業 道路
市道那481号線外1整備 L=230m



凡 例

- 通学路
- バリアフリ路線

